



調剤過誤防止に向けた薬剤部の取り組み



薬剤部は今年度、薬剤助手1名を新しく迎えました。11月現在、薬剤師14名、薬剤助手4名、SPD2名の計20名により調剤、入院時面談、持参薬鑑別及び再分包、抗がん剤・中心静脈栄養調製等の日々の業務を遂行しております。

調剤（薬剤の取り揃えだけに着目）の流れに関して説明すると、薬剤部では分担調剤を取り入れています。薬を取り揃える者、薬を一包装にする調剤分包機を操作する者、粉薬を計り取り分包する者等のように調剤を分担しています（同一者が行う場合もあります）。最終段階では、処方箋通りすべて合っているかを別の者が監査する

ことでダブルチェックを行っています。この監査時に、数の過不足や薬袋への入れ違い、薬剤の取り違い（規格違い含む）といった過誤が発見されることがあり、その件数は月に20件前後あります。

今年の薬剤部内での医療安全カンファレンスでは、「複数規格がある薬剤の調剤に関して」という議題にて対策検討を行いました。議題となったインシデントの原因として、規格が複数ある薬剤の調剤棚位置が離れており、複数規格があることへの注意、確認が欠けていたことが挙げられました。対策としては、複数規格があるものは調剤棚位置を隣同士に並べ、複数規格があることのシールを目立つように貼付し注意喚起を行いました。また、今後の部内システムの更新時に、バーコード認証システムの導入を予定しております。ダブルチェック時に機械を導入することにより、人為的ミスをもっと減らしていきたいと思います。これらの取り組みにて、調剤過誤防止に努めていきたいと考えています。



薬剤部 須田 真弘記

調剤棚（複数規格あるもの）

* 医療安全通信は、病院ホームページに掲載されています。

右のQRコード 病院ホームページ「医療安全対策部」からもご参照できます。



回覧										

医療安全対策地域連携加算に係る相互ラウンド

令和6年10月7日（月）13：30から、当院において「令和6年度医療安全対策地域連携加算に係る相互ラウンド」が実施されました。このラウンドは第三者視点から検証を行い、地域の病院間における情報共有や、他病院の創意工夫を学ぶことを目的として実施しているものです。今年度は、富山赤十字病院から医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、検査技師、事務員の7名に訪問いただき、書類審査および院内ラウンドが実施されました。



院内ラウンドの様子（集中治療室）

ラウンド後の総評として「施設がきれいで安全に配慮された設備であり、掲示もわかりやすい。集中治療室の通路の床をマーキングして物を配置し整理されており、スペースが広く活用されている。中央放射線部ではMRI検査の問診で金属の確認がしっかり行われている。」等の評価をいただき、また「画像診断や病理診断で重要事例があった場合は、報告書の確認に留まらず対策が取られているか確認を行う。」といった貴重なご意見をいただきました。今回の評価を参考に、さらなる改善をすすめていきます。

総務課 森本亜弓記

令和6年度 医療安全推進週間イベントについて

令和6年度 医療安全推進週間イベントを実施しました。

《実施日時》 令和6年11月5日（火）～11月25日（月）

《実施場所》 1階エントランスホール

- 《実施内容》
- ★ **医療安全川柳募集**
 - ★ **外来患者さんへの医療安全啓発活動**
 - ★ **医療安全活動の取り組みの掲示**



令和6年度(前期) 医療安全活動報告 優秀部署表彰

毎月セーフティマネージャー会の中で、医療安全の取り組みについて各部署から活動報告を行っています。

令和6年度（前期）医療安全活動報告 優秀部署に、中央臨床検査部が選ばれ、伊藤 透病院長から表彰状の授与及び記念品の目録贈呈が行われました。

《表彰式》 令和6年10月29日（火）セーフティマネージャー会

《表彰部署》 中央臨床検査部
「適切な結果報告に向けての取り組み
～寒冷凝集を認める血算～」



（左から）飛田技師長、伊藤病院長